

# 経営情報学プログラムの 教育における3つのポリシー

# 1. ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

- ・ 持続可能な豊かな地域社会の創生を支え、DX の取り組みにおける課題を解決するために、経営情報学の高度な専門知識・技術を修得している。
- ・ 社会・組織における課題やリスクの特定と戦略プランの策定に必要な、体系的な知識と判断力を有している。（マネジメント力）
- ・ 組織やプロジェクトにおいてリーダーシップを示すことができる。（マネジメント力）
- ・ 経営学とデータサイエンスの高度な知識と技術を、課題解決や意思決定、価値創出に活用することによって社会に実装することができる。（社会実装力）

## 2. カリキュラム・ポリシー(学修・教育目標を達成するための教育体系)

### 【教育課程編成の方針】

ディプロマポリシーとして掲げた修了認定の基準を実現するため、高度な学際的思考力・実践力や境界領域・異分野の専門知識・技術を養成するとともに、研究テーマに関連した学位プログラム間の連携・融合を図るカリキュラム編成・研究指導を実施する。

### 【教育内容の学修方法】

次に掲げる科目を配置し、これらを事例研究、グループワーク、フィールドワーク、ワークショップなどの方法により主体的な学修を行う。

- ・ 経営情報の処理と活用に必要な高度専門知識を習得するための科目を配置
- ・ 経営事象を分析する理論を体系的に把握するための科目を配置
- ・ 現代社会における経営、組織運営に必要な高度専門知識を習得するための科目を配置

### 【学修成果の評価方法】

学修成果の評価は、授業科目ごとに定める達成目標に応じ、科目の態様に従って、試験、レポート、作品、発表などにより評価する。修士論文に係る評価は、大学院学位論文等評価基準（博士前期課程）に基づき評価する。

### 3. アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

#### 【求める学生像】

- ・ 経営学・経営情報学を学習するために必要な基礎学力を有する人
- ・ 高度な論理的思考能力と現実社会の中から積極的に学ぼうとする姿勢を持って、現代社会における経営課題の解決に挑戦する意欲を持つ人
- ・ 経営学・経営情報学を通じて地域社会に貢献することに強い関心と意欲を持つ人